

第2回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会 会議録

1 会議名 第2回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会

2 日時 平成21年(2009年)5月22日(金)午前10時～12時

3 場所 箕面市役所 本館3階 委員会室

4 出席者

(1) 委員

伊藤委員、大倉委員、義永委員、吉村委員、中井(啓二)委員、中井(幸治)委員、
稲垣委員、笠原委員、八木委員、吉田委員、安達委員、大井委員

(2) 箕面市

埋橋水道事業管理者、島谷部長、後垣内次長兼総務課長、市村お客様サービス課長、
樋口浄水課長、佐多下水道課長、和田工務課課長補佐

(事務局)

友國総務課課長補佐、齋藤総務課担当主査、川崎総務課主査

5 傍聴人の数

4人

6 議事

① 報告案件

【ご質問に対する回答】

笠原委員からの質問に、別紙資料1の内容のとおり、後垣内次長兼総務課長から回答。
回答に対する質問は特になし。

② 審議案件

【桜ヶ丘浄水場の今後のあり方について】

○箕面市上下水道事業経営ビジョンについて資料2を後垣内次長兼総務課長から説明。

○桜ヶ丘浄水場の現況等について資料3を和田工務課課長補佐から説明。

【質疑応答要旨】

委員 耐震化について、府営水道1本化に絞った場合近隣市町村との連携はどうか。
箕面市 府営水道においては施設の耐震化を図ってきています。箕面市には自己水源があるので、府営水供給が停止してもある程度の給水はできるが限度はあります。また、

近隣市（豊中市、池田市、茨木市等）との相互連絡管での応援体制など一定の対策を講じています。

委員 処理コストが桜ヶ丘浄水場 56 円と箕面浄水場 118 円で大阪府営水道 88 円 10 銭となっていて、値段のばらつき・差があり、また大阪府と大阪市の統合で金額が下がると記事に書いてあったが、統合が何時になるのか。また箕面の料金はなぜ高いのか。

委員 現在は府市統合なしで府営水道だけで、どれだけ料金を下げられるかを検討中です。不確定な要素が多々あり、水源開発負担も大きく人口がどんどん減ってきており、開発中のダムを中止して今まで開発負担した費用をどうするのか国との精算方法がまだ見えない部分があるが、この 1 年くらいで方向性を決めて行く予定です。府市統合の前に府営水道だけで値下げができないか、何円が良いのかは検討中です。府市統合での値下げはその次にあります。府市統合がどういう形で進んで行くのかまだ分かりません。

統合により値下げの努力はしていくと思いますが現状ではまだ具体的な話は出来ません。

委員 来年度から府知事は 10 円くらい下げると言っていますが、まだ決まらないのですか。

委員 そのことについて、先ほどお話した水源負担金の調整をしています。それがある程度決まらなと一度下げてしまうと、再度の値上げは出来ないの、額を詰めていくよう調整中です。

委員 ついでに料金の話がでたので私の意見をメモしてきたので述べさせていただきます。

前回第 1 回会議の折、水道事業施設の見学がありましたが、そこで職員の方の説明の中で施設改築、更新により当然水道料金への転換は免れないとのご説明がありました。少子化が進むなか、水道使用量の減少等による収入減とともに、施設の老朽化にともなう改築工事、それによる経費増に対する収支のバランスをとるために水道料金の値上げをすることにより、人口流出、水使用量の減少、赤字、値上げという悪循環をうみ、まちの不活性化につながる。水の問題は、まちづくりの将来像をえがきながら進めていかなければ市民生活に影響を与え、結果としてつぎはぎだらけの町となる懸念がある。そして今、大阪府知事と大阪市長との間で水道事業統合の検討をされておる様子を見極めながら進めることが肝要である。

3 年前まで豊中市に住んでおりました当時、箕面市から転出された方からの話としていくつかの事例を紹介します。

1. 若い利用者さんですが、池田市から箕面市に引越したら水道料金のあまりの高さに驚き再度池田市へ移った。
2. 箕面市から豊中市へ引っ越された方も水道料金の高さに驚き引越を決意した。
3. 大阪市から箕面市へ移り再度豊中市へ引越された方も水道料金の高さが原因である。

また幼稚園のお母さんたちの会話の中で、トイレで子供の小便の時は水を流さないようにしているという話もあります。これほどまでに水を節約するということは環境問題の観点から好ましいとの意見もあるかもしれませんが、衛生上、教育上も問題があり決して見過ごすことではありません。民間企業であれば赤字になる原因をあらいだしコストの見直しから始めます。未曾有の危機といわれる大不況の今でも良質の商品をなおかつ販売し、顧客満足度を高めて集客努力を続け増益を確保している企業もあります。なお、主婦は賢くやりくりしながら生活に懸命になっているおりから、すぐに値上げという発想は改めるべきであり、まちづくりは市民の生活満足度を上げることから始めなければ活気のあるまちづくりはできないと思います。特に水道料金と市民生活に直結した問題は税金を投入してでも価格を維持すべきであり、市民の生活満足度を上げるためには、むしろ公共料金は下げるべきではないでしょうかというのが私の意見です。

会 長 安価な費用と市民生活としての基礎である安定供給との2つをいかにバランス良く取るかで、このバランスの取り方でいろんな意見がある。府営水道側は安定供給を重視している。朝日新聞でも知事の値下げ発言のことの報道もありましたが、先ほど委員から説明もありましたが、大阪府営水道でも5年ごとの見直しもあって、今後水需要が下がることは間違いないが、どれだけ下がるか分かりませんがそれに伴って受水費も下がれば料金も値下げになるかなと思っています。今の段階では詳細なことが言えないとのこと。これについて何か意見があればどうぞ。

箕面市 さき程のコストの違いについて、委員からの質問に対する回答の中の、桜ヶ丘浄水場56円と箕面浄水場118円の処理コストについて理由と背景を補足説明します。

桜ヶ丘浄水場は施設も古く、借り入れもほとんど返しており、減価償却費も少ないので、安い。箕面浄水場が高いのは、膜処理に施設を更新し、借り入れもして減価償却費も上がったのが原因です。

委 員 桜ヶ丘浄水場は施設が古くから処理コストが安いのなら、今度新しくすると処理コストが上がるのですね。

会 長 桜ヶ丘浄水場をいきなり全部更新するか廃止するかとの間で幾つかのやり方があると思うので、それについてこれから議論することになります。上下水道事業経営ビジョンにアセットマネジメントの観点から施設の延命化を図りつつ使うなど、今後の議論の争点になると思います。ご自由に質問・意見・感想などどうぞ。

委 員 箕面市には2つの浄水場があり、府営水道を入れてもらっていますが、値段が安ければそれで良いのかというお話もありますが、水質なり安定した供給をどの当たりの値段で担保するかというのが一番大事だと思います。例えば府営水道が全くなくなった時に箕面の浄水場だけで給水しないといけないのですが、こういうリスクは低いと思いますが、そういうことも考えながら、箕面浄水場は残るので、桜ヶ丘浄水場を残すのか、投資の価値は有るのかの判断が必要だと思います。

現実的に府営水道が止まった時に、当然全体的な水は足りないと思いますが、箕

面浄水場だけで辛抱できるのか、辛抱できないから桜ヶ丘浄水場も必要なのか、投資の価値は有るのかが問題だが、水質の話もあるので総合的に勘案しながら決めていく必要があります。ただ、経験上、1つの浄水場を更新していくのはかなり大変です。桜ヶ丘の浄水場は敷地も狭いし工事大変だろなと思いますので、そのあたりもしっかり見ながら考えていく必要があります。

委員 飲み水の使用量は少ないと思いますが、用途別の使用水量のデータはありますか。

会長 用途別のデータはあると思います。

委員 一人当たり1日の使用量は250～300ℓ程度で、飲み水は3ℓ程度、食器洗いや炊事が20ℓ程度、後ほとんどが雑用水です。震災の時から飲み水は3ℓ蓄えとけば良いといわれています。雑用水と浄水の二元水道と言われることもあります。水を送るのに費用が掛かります。浄水場の費用よりパイプを巡らす費用の方が莫大になり、コストがかかります。

箕面市 用途別の使用水量を提供するようにします。

会長 ビルのトイレとかは再利用している場合もありますが、一般の家庭でするのは費用面から難しいです。

委員 箕面市の料金が高いのは地形的な要因に原因があるのでは。

箕面市 箕面市の水道料金についてはホームページにも掲載していますが、南北にすり鉢状の形状になっており受水施設が沢山あります。施設の更新前なら府営水道よりも自己水の方が料金は安いけれども箕面市の場合は86%府営水に依存しています。それから箕面市の場合は生活用水が84%で、大口の利用者も少なくなっています。大口の利用者が多くあれば、水道料金は逦増性という料金体制で、たくさん使うほど料金単価が高くなる仕組みになっています。大口の利用者が多くてたくさん使っただけなら、大口の利用者の方に負担を多く求めることもできますが、現状では利用者全体で負担していただいているのが現実です。

会長 箕面市の地形的な要因もあります。先ほども説明がありましたように、86%が府営水道ということで、府営水道の受水費が料金に反映しているのは間違いないことのように思えます。箕面市自身もいろいろ削減努力してかなり抑えられてきていると思うのですが、今後の更新のやり方によっては、料金が上がるということがありますので、今後この桜ヶ丘浄水場をどうするかについては、特にコストシュミレーションなど減価償却も含めた将来のコストをきちっと押さえておく必要があると思います。いきなり廃止するか更新するかという結論に至る前にもう少しそのあたりについて別の視点からご意見ををお願いします。

委員 前回の桜ヶ丘の浄水場の見学をしましたが、こんな住宅街にこういう施設があるのだと改めて感じました。資料の中に施設を存続させるのには景観とか日照とかの問題を発生させないような施設更新を計画するとあらためて書いてあるということは、今現在そのような状態で日照とか騒音とか振動が近隣住民の方からの苦情があるのですか。

箕面市 更新にあたっては法律なり条例なり遵守し、その中で騒音とか振動とかも当然の

こととなります。騒音はポンプが地下にあるので、その熱を排出するのに換気扇があり、夜になると換気扇の音が気になるとの意見は聞いたことがあります。それ以外の苦情を聞いた記憶としてはないように思います。

会 長 更新する場合には、こういった景観、日照等問題が発生しないような更新、整備計画が必要だろうと思いますが、現状で特に問題が発生しているということではないということですね。

委 員 委員から箕面市の水道料金が低いと事例を交えて、ご説明ありましたが、どの程度高いのか近隣の市との比較表はどこにありますか。

箕面市 上下水道事業年報の116ページにグラフで比較しています。

委 員 体験からすると豊中市より5割ぐらい下水道料金が特に高い計算になりました。

箕面市 下水道料金も年報の178ページにありまして、箕面市は上位から17番目となります。

委 員 計算ではだいたい5割、下水道料金が低いという感じであったが。

箕面市 ほとんどの事業は生活用水で10m³、20m³、30m³あたりで比較していますが実際の比較は平均の供給単価、いわゆる平均の売値です。箕面市は生活用水量が84%ですけれども料金としては60数パーセントを負担していただいてまして、逆にいうと16%の方はその倍ほどの料金を負担していただいている構造になっています。それは営業用水の使用量が少ないということが、収入面で影響しているということです。他市と比べて料金が安いというのは、同じ使用量を基に比較することが基本となります。高いといった話はよく聞きますが正確な比較には需要の構造や平均供給単価での比較が水道事業としてのとらまえ方ではないかと思います。

委 員 そのようにしました。

会 長 給水原価の構成については別途経営資料等あります。職員一人あたりの給水量とか、水量1tあたりの人件費の割合とかいろんな資料があります。そういった経営資料の積み上げの結果が料金、コストということです。今後、機会があれば箕面市の経営、コストという総合的なことで業務などの分析が必要だと思います。

委 員 桜ヶ丘浄水場の現状等についての資料に、ケース1が廃止した場合、ケース2が更新した場合とあり、これをみると桜ヶ丘浄水場は更新しない方がよさそうにみえますが、逆に更新しなかった場合、つまり府営水にした場合の問題点とか課題とかいう点で何かありますか。

箕面市 先ほど委員さんからありましたように、水源の多様な方が府営水道が万一の時にはいいのではないかと、もう一つは水質面で桜ヶ丘の浄水は府営水、箕面川の水に比較して相対的にいい水で、これは水質をみていただければわかります。このほか箕面川と桜ヶ丘浄水場の水源をあわせても全体の14%ぐらいで、桜ヶ丘の更新によって仮定ですけれども全体にコストが上がるのは8%分、12分の1が府営水、箕面川の施設の利用者に影響を及ぼすことになります。桜ヶ丘更新で10円上がったとすると全体に与える影響はその10円の8%分に相当します。今は30円ぐらい差がありますので全体に

影響はでてきますが府営水を超えないように、そのほかアウトソーシングの推進と施設の効率的な更新などの検討をお願いすることになると思います。

会 長 この検討内容の説明ありましたようにこれだけの更新は難しいように読めるかもしれませんが、全体に与える影響となると8%程度と必ずしも最初から更新なしというわけではないという説明だと思います。全面更新した方がいいのか部分的でいいのかが課題と思われます。

委 員 府の方にお聞きしたいのですが、市との水道の統合は可能性としたらどんな感じなのか、私個人としてはやったほうがいいと思っていますが。

委 員 今のところはわかりません。現実には二重行政では本来ないのですが統合してある程度、経費は下がっていくとは思いますが。あとは条件なりをどうしていくかということになると思います。府としては各市に公平に供給する必要があると思っています。大阪市は大阪市民が中心のことなので、各市町村の意見も聞きながら進めるようになると思います。

会 長 府市統合については、府や市の考え方について、インターネットで全て公開しています。

委 員 桜ヶ丘の現状等について伺います。深井戸の深度について2ページと3ページの内容が違うところがある。最近深く掘られたのですか。

水源の水脈は関係あるのか？この2点について伺います。

箕面市 1点目の違いは、掘り変えたことによります。掘り変えは地下水の揚水量が継続するように8割くらいにしています。

2点目の水脈の関係は粘土層と砂の層があり、砂の層から採取し、深さを変更していますので特に影響はないです。

会 長 これから検討する時に、地下水の取水量のことも含めて検討していくことになります。

委 員 箕面トンネルによる地下水の影響はどうか。

箕面市 箕面の水道に影響があったのは、止々呂美の奥山川で、水がなくなり水源を箕面ダムに変更しました。山岳トンネルでは湧水があるのは一般で、長期間には湧水が減少していく傾向にあります。

委 員 今のところ桜ヶ丘浄水場の方には影響はないのですね。

箕面市 影響はありません。

会 長 何か質問ありますか。

委 員 水質の観点から、更新をする際に処理方法を変えるようなので、水源の水質についてどう考えているのか。

箕面市 桜ヶ丘の原水の水質は鉄、マンガンが多いので、今後どうコストを安くするか、処理が簡単になるかなどの検討が必要です。

委 員 経営ビジョンを見て、職員の年齢構成で45歳以上が半数以上占めているので、安全安心のライフラインを維持するのに、技術的な専門性の部門の養成とかが必要だと思います。今後の見通しはどうか。

箕面市 職員採用は市全体で行っています。水道部としては、新陳代謝を図れるように若い職員の配置を要望していますが、現状ではなかなか改善されないのですが今後も世代交代できるよう若い職員の配置を要望していきます。

会 長 色々御意見いただきましたが、今後もう少し桜ヶ丘浄水場について検討すべき課題があると思います。今後更新するか廃止するか詳細な代替案をご準備いただいて、引き続き審議会に諮っていきたいと思います。

事務局 次回の会議は7月を予定させていただきます。